

東大地震研究所共同研究集会 2017-W06
「地震・火山現象を含む学校地学教育の現状とそのイノベーション」
プログラム (2017.11.8改訂)

日程： 2017年11月11日(土)～11月12日(日)

場所： 東京大学地震研究所1号館2Fセミナー室。

東京都文京区弥生1-1-1 <http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/access/>

東京地下鉄南北線東大前駅(1番出口)より徒歩約5分、

もしくは東京地下鉄千代田線根津駅(1番出口)より徒歩約10分。

研究会代表者：戸谷友則(東大院理)

連絡先：大久保修平(東大地震研) okubo@eri.u-tokyo.ac.jp 03-5841-8274

11月11日(土) (10:00 開場)

10:25 開会挨拶：戸谷友則(東大院理)

セッション①：大学・大学院の地学教育(座長：戸谷友則)

10:30 角縁進(佐賀大教育)：佐賀大学教育学部での地学のアクティブラーニング

10:50 福田洋一(京大院理)：京大院理学研究科における地学教育

11:10 河野孝太郎(東大院理・天文学教育研究センター)：東大天文学科における地学教育

11:30 矢島道子(大学非常勤講)：大学・大学院の地学教育への注文

11:50 大久保修平(東大地震研)：全国地球惑星科学系学科・専攻の動向－地球惑星科学委員会の年次アンケートから見えるもの

12:10～13:10 昼食・休憩

セッション②：地学教育のアウトリーチ(座長：竹本修三・京大名誉教授)

13:10 岡田誠(茨城大理)：最後の地磁気逆転が記録された“千葉セクション”の国際標準模式層への認定(チバニアン)と想定される地学教育への貢献

13:30 大倉敬宏(京大阿蘇火山研)：京大阿蘇火山研の熊本地震の影響とその後の復興

13:50 前田晴良(九大総博)・西村智弘(むかわ町穂別博)・小林快次(北大総博)：地域博物館との共同研究による恐竜発掘の“産地直送”公開展示

14:10 山本圭香(国立天文台RISE月惑星探査検討室)：国立天文台RISEグループのアウトリーチ活動

14:30 杉憲子(共立女子大名誉教授)・○澤口隆(東洋大)：地学オリンピックの最近の話題

14:50 土佐誠(仙台市天文台)：仙台市天文台の地学教育への貢献

15:10 川辺文久(文部科学省)：東京区部産のトウキョウホタテ(東京都の化石)を探る

15:30～15:50 休憩

特別セッション：科学リテラシーと社会の関わり・総合討論（座長：大久保修平）

- 15:50 須藤 靖（東大院理）：高校の理科教育のあり方
16:10 畑 康博（栃木・宇都宮高）：高校理科教員の現場からの声
16:30 磯崎 哲夫（広島大院教育）：なぜ地学を学ぶのかー防災教育を例にしてー
16:50 総合討論（～17:20）

17:30～19:00 懇親会（地震研究所1号館2Fコミュニケーションラウンジ）

11月12日（日）（ 09:00 開場 ）

セッション③ 高校の地学教育-1（座長：宮嶋 敏）

- 09:30 小野寺弘幸（岩手・市立盛岡高）：岩手県内陸の高校における津波堆積物はぎ取り標本を活用した授業実践
09:50 沼田知紘（千葉・千葉工業高）：2011年東北地方太平洋沖地震の千葉県の地学教育に与えた影響
10:10 山崎里英（静岡・小山高）：静岡県立小山高校における地学の基礎授業としての防災教育

10:30-10:40 休憩

セッション④ 高校の地学教育-2（座長：宮嶋 敏）

- 10:40 前 義典（三重・木本高）：2016年三重開催の国際地学オリンピックにおける国際協力野外調査
11:00 前田憲幸（鳥取・鳥取西高）：2016年鳥取県中部地震（M6.6）の高校地学教育への影響
11:20 高木大輔（香川・高松高）：南海トラフ巨大地震を意識した地学基礎での防災教育
11:40 寺井邦久（長崎・島原高）：島原半島ユネスコ世界ジオパークを利用した防災教育
12:00 まとめと総合討論 宮嶋 敏（埼玉・熊谷高）：わが国の高校地学教育のめざすべき道

12:20 閉会挨拶：大久保修平